

事業所名

コロニー児童デイサービスまえじま

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		沖縄コロニーは、結核回復者が結成した「沖縄療友会」が当法人の前身であり、利用者第一優先を基本理念に、時代のニーズに合わせて、障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉に取り組んできました。これからも、「利用者のしあわせ」「職員のしあわせ」「地域社会のしあわせ」の3つのしあわせの実現を目指して、福祉と医療の連携を図り、新しい福祉の創造に挑戦します。							
支援方針		①児童が明るく楽しく過ごせるよう、居心地の良い場所づくりを目指します。 ②発達支援や療育的活動（遊び、運動等）を通して、児童の成長・発達を促せるよう、支援計画に沿って支援します。 ③保護者が抱える育児不安や育児負担を軽減し、保護者が安心して子育てを行えるよう支援します。							
営業時間		9 時	30 分	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容							
		項 目				ね ら い			
本人支援	健康・生活	身辺自立（手洗い、お着替え、トイレトレーニング、おやつ、リラックスタイム、おやつ作り等）				事業所での一日の流れの中で、自分自身でできる事を増やしていきながら、心身の健康の保持、生活のリズムや習慣の形成、基本的な生活スキルの獲得を目指します。			
	運動・感覚	感触遊び（スライム、粘土等）、指先遊び（チップ落とし、ペグ差し、シール貼り等）、サーキット運動（ボール投げ、バランスボール、平均台、ゴム飛び等）				遊びを通して、視覚、聴覚、嗅覚、固有覚、前提覚等の感覚を十分に活用し、子供たちの運動能力の成長を促すと共に、感覚の偏り（感覚の過敏や鈍麻）に対する環境調整等の支援を行います。			
	認知・行動	絵具遊び、マッチング遊び、シルエットクイズ、パズル等				視覚（色や形、数）、聴覚（音が変化する様子）、触覚（硬さや温度、質感）等の感覚を十分に活用し、これらの感覚から情報を取得し、認知機能の発達を促します。			
	言語コミュニケーション	言葉遊び、ひらがなポスターやパズル、絵カード、遊びの中でのジェスチャー等				言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、ジェスチャー、絵カード等、様々な方法で意思のやりとりができるよう環境調整を行うとともに、遊びの中で本人からの意思表示（発声や指差し、ジェスチャー等）を引き出し、コミュニケーション能力の向上を目指します。			
	人間関係社会性	集団活動、遊びの中での順番やルール、外出支援等				遊びを通して、人の動きを模倣する、順番やルールを守る、ごっこ遊びなど象徴遊びをすることで、対人関係の芽生えや社会性の発達、気持ちのコントロールができるよう支援を行います。			
家族支援		・家族会や親子遠足を企画し、保護者同士の交流の場を設けている。 ・子育てに関する事や家庭での悩みがあれば、個別で面談の機会を設け、事業所での支援の内容や家庭での支援の助言等を行っています。				移行支援		利用者の理解と継続した支援が行えるよう、家庭や通われている保育園、こども園、併用している事業所、相談支援専門員と連携を密にし、情報交換や支援での助言等を行っています。	
地域支援・地域連携		地域のイベント（作品展示会やハロウィンイベント等）に参加しながら地域での交流を行っています。				職員の質の向上		研修の実施 （今年度実施）虐待・身体拘束防止、救急救命研修、事業所内研修「愛着形成」、「感覚統合療法」	
主な行事等		家族会 モノレール乗車体験 親子遠足 夏祭り じゃがいも植え・じゃがいも掘り体験 ハロウィンイベント 七五三 クリスマス会 初詣 節分イベント お別れ遠足・お別れ会							

※本人支援については、『健康・生活』『運動・感覚』『認知・行動』『言語・コミュニケーション』『人間関係・社会性』の5領域を重複して実施する支援プログラムもあります。詳細は、別紙をご覧ください。